

本報民衆新聞外號

二町國四田三區芝市
郎三嘉野生 印
二町國四田三區芝市
所行設
社報新衆民本日

品川製作所爭議續報

小林山口等の

醜行續々曝露さる

組合の金で待合に入浸る

品川製作所に於ける労働爭議は其後罷業に参加するもの漸増し絶対多数を占むるに至り益々激化せんとしつゝある。これが發生の経緯は、本紙既報の如くであるが、其後本紙の探知するところによれば、彼等の醜行は實に驚くべきものがある。山口、小林、秋山、其他等は、五反田花ノ家、里ノ家、榮家等々恐らく十軒以上にも上る待合に殆んど我家の如く入りびたり昨年來より一萬圓に上ると推定せらるゝ遊興費を費消して居る。職工の身分で、どこからこの金が出たか？それは組合の公金及び、會社から買収費として支出されたものであると云はれて居る。

我々はもとより、他人の醜行を曝して徒らに快を叫ぶものではないけれども、醜類が自ら反省せざるのみか、反つて會社に迫つて正務課幹部を威嚇せしめ、或は暴力に訴へて組合員を威嚇し、組合同盟が労働組合の風潮を忘却して、醜類を擁護するに汲みとし、無根の逆宣傳を以て世人を誤りつゝある現状を見ては到底社會正義の立場より黙視することは出来ないものである。白晝に彼等の非行をばき、社會の公正なる輿論に訴へんとするものであ。

醜類を擁護し爭議を

妨害する組合同盟

加藤、望月君は宛然會社の人事係

非難と疑惑集まる

以上の如く、小林、山口等の非行は醜類であるにもかゝらず、組合同盟は例に依つて、この醜類を擁護し、罪なき正義派幹部を解雇せしめ、これに反對して罷業せる従業員の切り崩しに狂戦して居る。殊に、加藤勲十、望月源次君の如きは會社の人事係の如くに、工場内に詰め切り、十七日には組合同盟の名を以つて、罷業職員に「組合同盟のメダ等にだまされてはいけません、會社の仕事は平常通りになりました、早く仕事にお出なさい。そうでないと組合員の代りの人を組合同盟で責任を以て補完致します」と云ふ我國労働組合運動始まつて以來の非階級的無類な手段を凝して居る。かかる彼等の行動に對しては、今や社會的輿論は驚愕として非難の聲を高め、餘りに彼等が非常識であるから何等か醜類や會社との間に離れ難き醜因縁があるのではないかと、一般に疑惑の目をもつて見られて居る。労働組合の健全なる發達と、社會正義の確立は、先づかかる醜類の驅逐から行はなければならぬと、罷業職の意氣は壯である。事實は最も驚愕なる醜類である。やがて醜類組合同盟はその審判を被りもてあらう。(労働者大)